

夏に練える若者たち

夏……それは若者たちの季節若者たちは太陽に向って立つ暑さをおそれない汗を飛び散らして赤銅色の肌を誇る若者たちは行く若者たちは来る若者たちは来る若者たちは練える北の町も東の山も西の海も出穂期の青田も若者たちの舞台だ輝く太陽の下に若者たちの讃歌が響く

県外研修

毎年県教育委員会が実施している、青年県外研修。今年度は、東北方面が選ばれた。青森県 岩木町 十和田市 宮城県 一迫町 古川市 として研修のまとは、福島県にある、国立警備青年期間は、七月十三日から七月二十三日までの、十日間。一行二十五名(男二十名女五名)のうち、本村から新谷の佐藤純雄君、原の大岩富雄君の二名が選ばれて参加した。

野外活動

④四日クラブ 巻地区連キャンに参加 七月二十一日から 二十三日まで 赤城山キャンプ場 ⑤青年団 はじめての海岸キャン 七月二十四日から 二十六日まで 間瀬米水ヶ浦 (通称 小浜海岸) 農業大学講座 巻地区合同キャン 八月五日から

青年交換会

七日まで 真警備キャンプ場 埼玉県大宮市の四日クラブ四十五名が来郡。八月四日から六日まで、四日クラブ巻地区連で受入して研修を行なう。最終日には間瀬海岸で、キャンファイヤーを囲んで交歓、別れを惜しむ。後日、お返しに埼玉県訪問計画を立てる予定。



前略 訪れたそれぞれの市町での、青年たちの印象を一言ずつ述べてみたい。

岩木町 青年たちにまことと、温かい人間味が感じられた。リーダーだけががんばるのではなく、一般員が、それについていけるか、という感じがした。一迫町 八鹿踊りという郷土芸能があり、それを通して、



原 大岩富雄

前略 研修は、各自研修課題を持ち寄り、それに基いての情報交換、あるいは討議という型が進められ、連日熱心な話し合いがなされました。時には、夜中の二時三時までかかったこともあり

仲間同志の和という点で実にうまくいっていた。また、婦人会活動も活発で、青年との話し合いなどに興味を持っていた。古川市 市の周辺は農業地帯で、新築に似ている感じであった。会を引張っていく、リーダーがいまいせいか、活動が停滞ぎみのようであった。リーダーのあり方はむづかしいものだと感じられた。

夏休み中の生活指導

村内小中学校生活指導部

子供たちにとって、最も楽しい夏休み。日常の学校生活に比べて、自由な生活を送る機会が豊富である。しかし、この機会に悪習慣が身につくおそれがある。生活指導部は、この機会に、子供たちの健全な成長を促すべく、生活指導を実施する。 (一)交通安全防止 (二)夜間外出の禁止 (三)水難事故防止 (四)水泳は必ず保護者又は成人と行く。 (五)高学年と一語に行くことも禁止。 (六)川や池では泳がない。 (七)夜間外出の禁止 (八)止むを得ない夜間外出は必ず大人と一緒に。 (九)水難事故防止 (十)水泳は必ず保護者又は成人と行く。 (十一)高学年と一語に行くことも禁止。 (十二)川や池では泳がない。 (十三)夜間外出の禁止 (十四)止むを得ない夜間外出は必ず大人と一緒に。

健康について 身体面だけでなく、勇気や忍耐力を養い、たくましく精神を育てることも忘れな。ラジオ体操に積極的に参加する(小学校) 朝マラソンに積極的に参加する(中学校) 奉仕活動について 小中学校ともに、各部落で奉仕作業をする。 家庭生活について 子供たちにとって、最も楽しい夏休み。日常の学校生活に比べて、自由な生活を送る機会が豊富である。しかし、この機会に悪習慣が身につくおそれがある。生活指導部は、この機会に、子供たちの健全な成長を促すべく、生活指導を実施する。

岩室温泉病院

7月27日診療開始



新潟県労働衛生医学協会附属リハビリテーションセンター 岩室温泉病院 これが、温泉病院の正しい名称です。この病院の目的は、次のようにうたわれています。 「激増している交通事故、労働災害ならびに脳卒中等による、後遺症患者が

▲白亜の病棟を背にして立つ、病院のシンボル……希望と感謝の像

七日に開院しました。 内科 整形外科 理学療法科 三科に分れており、医師七名、看護婦二十二名、病床定員八十床となっております。 本館正面玄関の前庭に、南の空に向けて高々とそびえ立つ「希望と感謝の像」は、温泉病院のシンボルとして、その目的をよく表わしています。

静閑荘と決まる

名付け親は玉木さん

九月十五日(老人の日)完成を目前に、急ピッチに工事が進められている老人いこの家。 前月号で、名称の懸賞募集をいたしましたところ、大きな反響を呼び、たくさんの方から応募をいただきました。 村長、議長、老人クラブ代表、区長代表など十五名で慎重審査の結果、次のとおり入選ならびに佳作が決まりました。 (敬称略) 入選 静閑荘 (せいかんそう) 大宇岩室 玉木吉郎(77才) 佳作 望山閣



▲あの城址から、きれいな野鳥のなき声が聞えますよ……と、工事現場で語る玉木さん

近代設備が整った、県内初のリハビリテーションセンター完成は、病気の苦痛の後遺症に悩む人びとへの一大福音であり、今後大きな役割を果たしていくことと見込んでいます。 所在地 岩室村大字岩室 宇上ノ郷七三六番地 電話 岩室(〇二五六八二) 一一一番(代)

募が入選したなんて……完成が待ちきれないで、現場へ何度も行ってみました。 松林に囲まれて、村々を見渡せる静かで、のどかな場所です。 静閑荘は、単に老人だけのいこの家ではなく、村民全体のいこの家にしたと考えています。 第一石として、この附近に一大中心地にふさわしい、住民福祉と健康増進のセンターにする構想です。 「ほんとはどうか？私の応援をお願いします。」

腹八分、控え目の腹に食中毒なし。